

電力需給ひっ迫への対応について

R4 (2022) . 6. 28 環境森林部・経営管理部

1 背景

- ✓ 火力発電の休廃止の増加や今年3月の福島県沖地震の影響による電力供給量の減少
- ✓ 新型コロナの影響を含めた経済社会構造が変化中での電力需要の増加
- ✓ ウクライナ情勢等により不確実性が高まる燃料調達リスク

→これらの要因により、今年度夏季は、7月の東北・東京・中部エリアにおいて予備率3.1%と非常に厳しい見通し

冬季は、東京エリアで予備率がマイナスになるなど、極めて厳しい見通し

国においては、平成27年以来、7年ぶりとなる節電要請を実施

	夏季			冬季			
	7月	8月	9月	12月	1月	2月	3月
北海道	21.4%	12.5%	23.3%	12.6%	6.0%	6.1%	10.0%
東北				7.8%	3.2%	3.4%	
東京	3.1%				▲0.6%	▲0.5%	
中部							
北陸		4.4%	5.6%				9.4%
関西				4.3%	1.3%	2.8%	
中国	3.8%						
四国							
九州							
沖縄	28.2%	22.3%	19.7%	45.4%	39.1%	40.8%	65.3%

2 取組の方向性

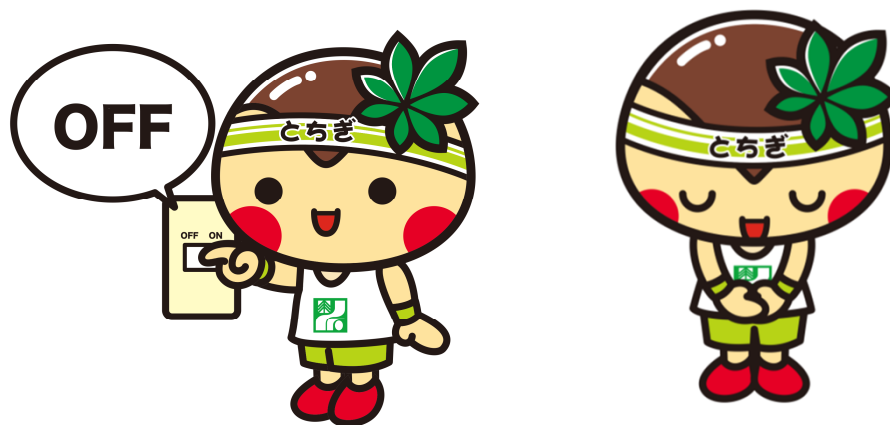
- ✓ 県民生活や経済活動に支障が生じることがないように、県としても、必要な対策に万全を期することが重要
- ✓ この状況を乗り越えるため、県民、事業者、行政が一体となった、オールとちぎによる節電を進めていく
 - (1) 県民・事業者への周知
 - ・ 家庭や事業所における節電のポイントについて、知事自ら呼びかけるほか、SNS等を通じた周知啓発を実施
 - ・ 経済、業界団体等に対し、節電協力依頼を実施
 - (2) 県庁率先による取組
 - ・ ピーク時の使用電力の低減と使用電力総量の削減に努めるなど、率先した取組を実施

栃木県から皆様へのお願い

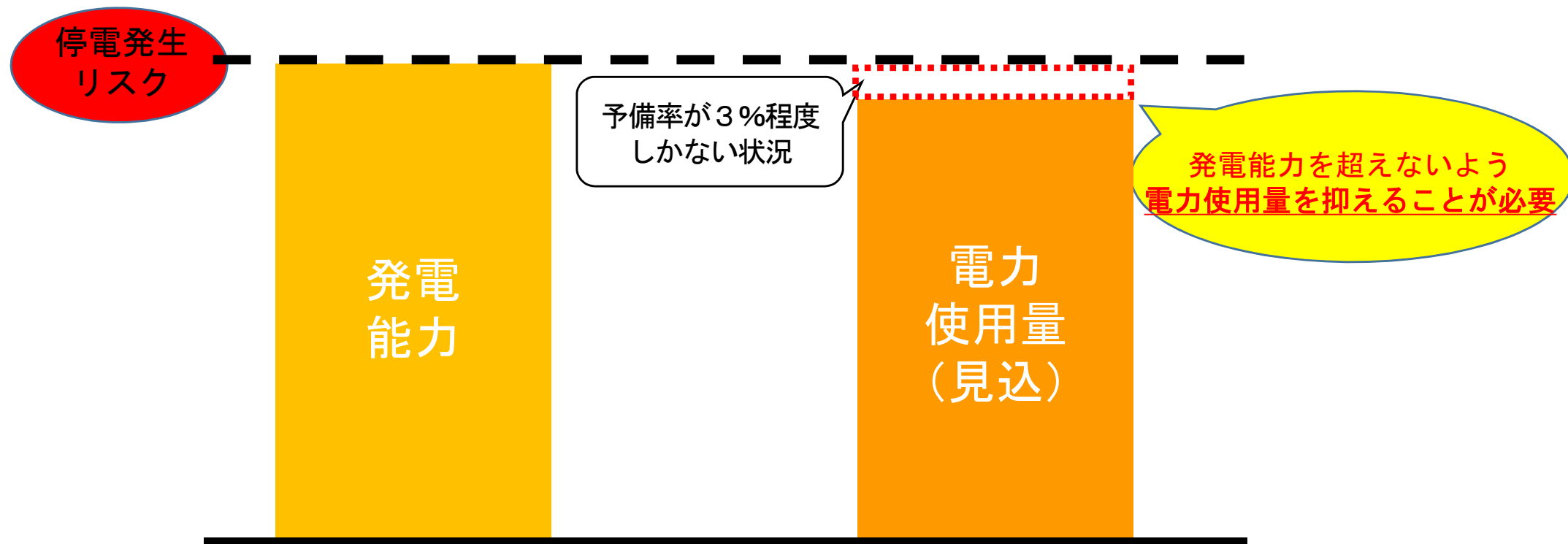
この夏、無理のない範囲で

節電・省エネ

に御協力をお願いします



今夏は、電力需給が非常に厳しい見通しです



電力不足が生活を直撃するおそれがあります

ご家庭の皆様へのお願い

節電

○消費電力を減らす

未使用の電気製品のプラグはコンセントから抜く

○電気の使用時間帯をずらす

使用が多い時間帯(夜)や同時使用を避ける



省エネ

○服装の工夫で空調を適度に

軽装にして「冷房の適切な使用」を
実践

○すだれやシェードで涼しく

屋外で日差しをカットして
室内温度を抑制



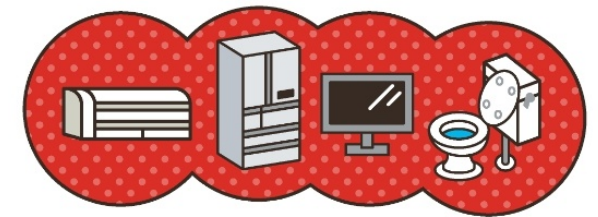
省エネ家電への買替え

○照明はLEDに

LEDの消費電力は蛍光灯の約半分

○省エネ家電へ買替え

10年前の冷蔵庫、テレビを
買い替えれば約40%省エネ



省エネ性能

熱中症等に注意し、生活に支障を来さない範囲で御協力をお願いします

事業者の皆様へのお願い

オフィスでの節電・省エネ

○空調の設定温度を緩和

設定温度を1℃上げると消費電力が約13%削減

○照明の間引き

通路や部屋の隅など人のいない箇所を間引き



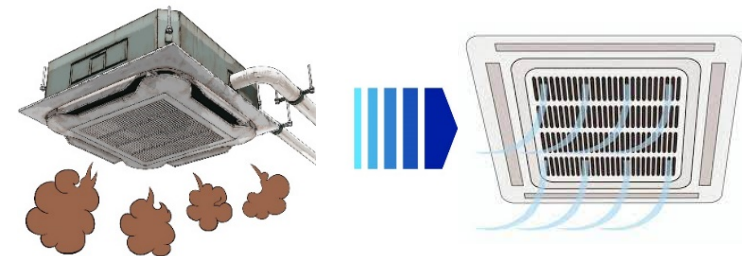
省エネ設備への更新

○LED照明への更新

蛍光灯・水銀灯などをLED化することで約85%削減

○エアコンの高効率機への更新

最新のエアコンに買い換え、大幅な省エネを達成



コスト削減にもつながる節電・省エネに御協力をお願いします

この夏、県職員が率先して節電！省エネ！

※下線は今夏、特に追加した取組

	各職員	各課室	庁舎管理者
通常時 (7月～9月)	PCの省エネ設定 階段使用の励行 クールビズの実施 <u>印刷削減等</u>	コーヒーマーカー使用停止 <u>電気ポット使用停止</u> 冷蔵庫整理、温度設定管理 定時退庁日の徹底等	<u>節電取組チェックリスト作成、配布</u> 蛍光灯間引き 暖房便座、温水停止 共用部の空調停止等
注意報・警報時	<u>大量印刷停止（ピーク時）</u> <u>PCのプラグ抜きバッテリー使用（ピーク時）</u>	<u>執務室の消灯（ピーク時）</u>	<u>エレベーター間引き</u> <u>庁内放送等による周知</u>

※ その他：お盆期間中（8月12日、15日）は本庁舎エレベーターを半分停止